	工業高等	車門学校	開講年度甲成	は30年度 (2	(UIO II I O I	1 10 = 14 [
		<u> </u>		<u>√√√√</u> (∠		授業科目	通信工学	
科目番号	√ IH+IX	2018-174			科目区分	専門 / 必		
<u>170日7</u> 授業形態				単位の種別と単位				
開設学科		電気電子工			対象学年	.数 <u> </u>	<i>L</i> . <i>Z</i>	
開設期	後期			週時間数	2			
					2			
<u> </u>	(1/)	佐藤 憲史	90.险旧工于」,仍构入	/C 交画19, 二C	J / 11.			
<u>123数页</u> 到達目標								
1. 通信 2. 無線 3. 電気電	システムの原 通信, 音声通 電子工学の課	i信,画像诵信:	技術を説明できる. 等の通信サービスの基本 た専門知識を応用できる	本技術と概要 [:] る. (C1-3)	を説明できる.			
ルーブリ	<u> </u>						-	
			理想的な到達レベルの	目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベ	ルの目安
1. 通信システムの原理とその基本技術を説明できる.		□通信システムの原理とその基本 技術をこれまで修得した内容をも とにわかりやすく説明できる.		□通信システムの原理とその基本 技術を説明できる.		ト □通信シス・ 技術を説明・	テムの原理とその基本 できない.	
2.無線通信, 音声通信, 画像通信等の通信サービスの基本技術と 概要を説明できる.			□音声通信,画像通信 ネット等の通信サービ 術と概要を詳細に説明	, インター スの基本技 lできる.	□音声通信,画像通信,インターネット等の通信サービスの基本技術と概要を説明できる.		- □音声通信 支 ネット等の 術と概要を	, 画像通信, インター 通信サービスの基本技 説明できない.
3. 電気電子工学の課題に,修得 した専門知識を応用できる.(C1- 3)			□電気電子工学の課題に、修得し た専門知識を例をあげながらわか りやすく応用できる. □電気電子工 た専門知識を			学の課題に、修得し □電気電子工学の課題に、修得し た専門知識を応用できない.		
学科の到	到達目標項	目との関係	t					
 実践指針	(C1) 実践	指針のレベル	(C1-3) 【本校学習	・教育目標(ス	本科のみ)】 2			
教育方法								
概要	<u> </u>	通信システ. 報化社会を 学を学ぶこ	ムは,産業や文化,生活さえる基盤技術となっ とは工学全般の修得につ	舌にとって不可っている. 通信 つながる.	可欠な社会的インフ 信システムは広範囲	7ラである. 通(日な技術を応用し	信技術は急速に した総合的なシ	進歩しており, 高度情 ステムであり, 通信工
応業の (#)	め方・方法		って講義する. 通信に関 均を評価点とする.	関する資料を関	配布し,関連する部	⁷ 品などを回覧	する. 100点	満点の試験を2回実施
		1 試験や	課題レポート等は 1AF	BEE , 大学評	価・学位授与機構,	文部科学省の	教育実施検査に	使用することがありま
注意点	<u> </u>	1. 試験や す. 2. 授業参 3. 授業目 価基準につ	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授 標3 (C1-3) が標準基 いては評価(ルーブリッ	業が行われる/ 準 (6割) 以	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教 本で60点以上	対員へ連絡してく の場合に合格と	使用することがありま (ださい. する. 評価項目及び評
注意点		1. 試験やすす。 2. 授業参う3. 授業目の価基準についる。 週 授	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授美 標3 (C1-3) が標準基 いては評価(ルーブリッ 業内容	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 動ごとの到達目	対員へ連絡してく の場合に合格と 標	使用することがありま (ださい. する. 評価項目及び評
注意点	ii	1. 試験やすす。 2. 授業参り3. 授業目の価基準につり 週 授	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価(ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教 本で60点以上 週ごとの到達目 受業概要を理解	対員へ連絡してく の場合に合格と 標 できる.	(ださい. する. 評価項目及び評
注意点	<u> </u>	1. 試験やす。 2. 授業参り。3. 授業目の価基準についる 週 授 1週 学 2週 通	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 週ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの	対してくの場合に合格と 標 できる. 歴史と概要を理	(ださい、 する. 評価項目及び評 解できる.
注意点		1. 試験やす。2. 授業飼工 (個基準についる) 1. 対象を (1.)))))))))))))))))))))))))))))))))))	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全(に教科目担当教本で60点以上 動ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる。 歴史と概要を理 とアナログ伝送	ださい. する. 評価項目及び評 解できる. について説明できる.
注意点		1. 試験やす。 2. 授業飼 3. 投業目 価基準につり 週 授 1週 学 2週 通 3週 信	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全(に教科目担当教本で60点以上 動ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる。 歴史と概要を理 とアナログ伝送	(ださい. する. 評価項目及び評 解できる.
注意点	3rdQ	1. 試験やす。 2. 授業参信 3. 授業目の	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全(に教科目担当教本で60点以上 園ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本 デジタル伝送,	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 歴史と概要を理とアナログ伝送	ださい. する. 評価項目及び評 解できる. について説明できる.
注意点		1. 試験やす。 2. 授業参行。 3. 授業目でののでは、	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全(に教科目担当教本で60点以上 週ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本 デジタル伝送,	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。歴史と概要を理とアナログ伝送通信の多重化方	ださい. する. 評価項目及び評 解できる. について説明できる. 式について説明できる.
注意点		1. 試験やすす。2. 授業目の	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ループリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 活 ニク通信	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 園ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本 デジタル伝送, 電話機と交換機 データ伝送方式 光ファイバの特 説明できる.	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる。 歴史と概要を理 とアナログ伝送 通信の多重化方 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ださい. する. 評価項目及び評 解できる. について説明できる. 式について説明できる. ついて説明できる. ついて説明できる.
注意点 授業計画		1. 試験やすす。2. 授業目の	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ループリッ 業内容 習・教育目標, 授業概3 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 園ごとの到達目 受業概要を理解 通信システムの 言号伝送の基本 デジタル伝送, 電話機と交換機 データ伝送方式 光ファイバの特 説明できる.	関へ連絡してくの場合に合格と標できる. 歴史と概要を理とアナログ伝送通信の多重化方が、通信ケーブルにといってが、とと光ファイバッでである。	ださい. する. 評価項目及び評解できる. について説明できる. 式について説明できる. ついて説明できる. ついて説明できる.
注意点 授業計画		1. 試験やする。 2. 授業等の3. 装準についる 2. 授業 を 1 で 2 で 3 で 3 で 3 で 3 で 4 で 6 で 6 で 6 で 7 で 3 で 8 で 8 で 4 で 8 で 6 で 4 で 8 で 6 で 6 で 6 で 7 で 8 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ループリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 活 ニク通信	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 週ごとの到達目 受業概要を理解 通信システム基本 デジタル伝送, 電話機と交換機 データ伝送の特 光ファできる. 無線通信のきる	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる. 歴史と概要を理 とアナログ伝送 通信の多重化方 ・, 通信ケーブル と階層モデルに 徴と光ファイバ	ださい. する. 評価項目及び評解できる. について説明できる. 式について説明できる. ついて説明できる. ついて説明できる.
授業計画		1. 試験やすす。 . 授業管理	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ・ファイバ通信 線通信方式 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 週ごとの到達目 受業概要ステ基語の会をできるのでは、 運行のでは、 電子のは、 できるが、 できなが、 できな	は関へ連絡してくの場合に合格と標できる。歴史と概要を理とアナログ伝送通信の多重化方・通信ケーブルに徴と光ファイバス・電波の伝わり・M送受信機につ通信・衛星通信	がださい。 「対する、評価項目及び評算できる。」 「はこついて説明できる。」 「はこついて説明できる。」 「こついて説明できる。」 「ごついて説明できる。」 「通信システムについて 方、アンテナの動作原いて説明できる。
注意点 授業計画		1. 試験や 1. 対験を 2. 授業 1. 授業 1. 対策 2. 授業 1. 対策 2. 対策 2. 対策 2. 対策 3. 基 3. 基 4.週 6.週 6.週 6.週 7.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.回	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I また アイバ通信 線通信方式 線応用 I 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 過ごとの到達目 受業概要ステ基語の会別では、 通信の主要をののでは、 一を表するでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は関へ連絡してくの場合に合格と標できる。歴史と概要を理とアナログ伝送通信の多重化方・通信ケーブルと階層モデルに徴と光ファイバ・電波の伝わり・・M送受信機につ通信,衛星通信・・	がさい。 「対する、評価項目及び評解できる。 「はついて説明できる。」 「はついて説明できる。」 「はついて説明できる。」 「のいて説明できる。」 「のいて説明できる。」 「のいて説明できる。」 「のいて説明できる。」 「のいて説明できる。」 「アンテナの動作原いて説明できる。」 「いて説明できる。」 「いて説明できる。」
注意点 授業計画		1. 試験や 1. 対験を 2. 授業 1. 授業 1. 対策 2. 授業 1. 対策 2. 対策 2. 対策 2. 対策 3. 基 3. 基 4.週 6.週 6.週 6.週 7.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.週 8.回	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ・ファイバ通信 線通信方式 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目担当教本で60点以上 周ごとの到達目 受業にの受験をした。 一型では、 一型では、 一型では、 でをは、 でをは、 でをは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 では、	は関へ連絡してくの場合に合格と標できる.歴史と概要を理とアナログ伝送通信の多重化方の。通信ケーブルは、通信を光ファイバス、電波の伝わり・M送受信機につ通信、衛星通信・と構成、ファク	がださい。 「する、評価項目及び評価できる。」 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でついて説明できる。 でついて説明できる。 でしていてが明できる。 でしていていていていていていていていていていていでいていていていていた。 カ、アンテナの動作原いて説明できる。
授業計画	3rdQ	1. 試験やすす。 投業管1の 2. 投業管1の 3. 基準にの 3. 最終でする。 3. 最終でする。 3. 投業管2の 3. 最終でする。 3. 最終でする。 3. 最終でする。 4. 関係でする。 5. 関係です。 5. 関係でする。 5. 関係でする。 5. 関係です。 5. 関係です。 5. 関係です。 5. 関係でする。 5. 関係です。 5. 関係で 5. 関係で	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I また アイバ通信 線通信方式 線応用 I 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教育日担当者本で60点型をで60点型をで60点型をできるのででででででででででででででででででででででででででででででででででで	は 員へ連絡してく の場合に合格と 標 できる。 歴史と概要を理 とアナログ軍化方 通信ケーブルに 徴と電波の伝わり 、と階光ファイバ 、できる。 一でいた。 一でいた。	(ださい. する. 評価項目及び評解できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. 通信システムについて 方, アンテナの動作原いて説明できる. , レーダとGPSについこう! シミリを説明できる.
注意点 授業計画		1. 試験や 2. 授業買う 個人 1. 授業買う 1. 授業 2. 授業 2. 授業 2. 授業 2. 授業 2. 通 3. 基 4. 通 6. 個 6. 個 7. 個 8. 個 9. 個 1. 1. 個 1. 1. 個 1. 1. 個 1. 1. 個 1. 1. 個 1. 1. 個 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 続加信方式 線応用 I 線応用 I 像通信	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教育日担当者本で60点型をで60点型をで60点型をできるできた。 同ごとの要を一点できた。 一型では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる. 歴史と概要を理 とアナログを重化方 ・通信ケーブルに 後でできる。 一ででは、 ・一ででは、 ・一ででは、 ・一ででは、 ・一ででは、 ・一ででは、 ・一ででは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がださい。 (ださい。 する、評価項目及び評価できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でついて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。 でのいて説明できる。
注意点 授業計画	3rdQ	1. 試験や 2. 授業官 3. 最	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教育の点は 科目点以 目が、 日が、 日が、 日が、 日が、 日が、 日が、 日が、 日	は 関へ連絡してく の場合に合格と 標 できる。 歴史と世と とアナロの事化と 通信をデンルに できる。 とでは、 通信をデンルに できる。 の場合に できる。 の場合に できる。 の場合に できる。 の場合に の事化 できる。 の場合に の事化 のでまる。 のに のに のに のに のに のに のに のに のに のに	(ださい. する. 評価項目及び評解できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. ごのいて説明できる. ごのについて ガ, アンテナの動作原いて説明できる. , レーダとGPSについて説明できる. , レーダとGPSについてごりを説明できる. , レーダとGPSについてごりていてごりてきる. , レーダとGPSについてごりていています。
注意点 授業計画	3rdQ	1. 試験やに 2. 授業 1. 接 1.	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基準にては評価 (ルーブリッ業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場に	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教科目点出 種で60点 型業にとの到達理 一型では、 一では、 一	は関へ連絡してくの場合に合格と標できる. 歴史と概でを理と呼びる重化がある。 歴史アナロ多重化がある。 通信ケーブルに徴と形でのの伝わり。 ・M送信、第一でである。 ・M送信、第一でである。 ・M送信、第一でである。 ・機に通信ができる。 ・は、アジタルにのである。 ・は、アジタルにのである。 ・は、アグロのでは、アジタルにのである。 ・は、アグロのではないのでは、アグロのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではない	ができる. 評価項目及び評価できる. でできる. ででで説明できる. ででで説明できる. ででで説明できる. ででで説明できる. ででで説明できる. できる. できる. できる. できる. できる. できる. できる.
授業計画	3rdQ	1. 試験やに 2. 授業 1. 接 1.	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を 目点が をで60点数で をで60点数で をできるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので でいるのでので でいるで でいるので でいるので でいるので でいるので でいるで でいるので でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいで でい	は関へ連絡してくの場合に合格と標できる. 歴史と概でを理と呼びる重化がある。 歴史アナロ多重化がある。 通信ケーブルに徴と形でのの伝わり。 ・M送信、第一でである。 ・M送信、第一でである。 ・M送信、第一でである。 ・機に通信ができる。 ・は、アジタルにのである。 ・は、アジタルにのである。 ・は、アグロのでは、アジタルにのである。 ・は、アグロのではないのでは、アグロのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではない	がださい。 「する、評価項目及び評価できる。」 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でかれて説明できる。 でかれて説明できる。 でかれて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。
授業計画	3rdQ	1. 試験やに 2. 授業 1. 接 1.	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基準にては評価 (ルーブリッ業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場に	業が行われる/ 準 (6割) 以 ック) による.	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を 目点が をで60点数で をで60点数で をできるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので でいるのでので でいるで でいるので でいるので でいるので でいるので でいるで でいるので でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいで でい	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 標でまる。概でまると概でを上げる重とででででである。 を選び、、とでででは、一般では、一般では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ができる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でかて説明できる。 通信システムについて 方、アンテナの動作原 いて説明できる。 、レーダとGPSについて シミリを説明できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
注意点 授業計画	3rdQ 4thQ	1	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授業標3 (C1-3) が標準基準にては評価 (ルーブリッ業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場に	業が行われるが 準 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を 目点が をで60点数で をで60点数で をできるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので でいるのでので でいるで でいるので でいるので でいるので でいるので でいるで でいるので でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいで でい	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 標でまる。概でまると概でを上げる重とででででである。 を選び、、とでででは、一般では、一般では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	がださい。 「する、評価項目及び評価できる。」 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でかれて説明できる。 でかれて説明できる。 でかれて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 ではいて説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。
注意点授業計画	3rdQ 4thQ	1	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場にあま にファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I とレビジョン ルチメディア ータの圧縮技術 出力機器	業が行われるが 準 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を 目点が をで60点数で をで60点数で をできるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので でいるのでので でいるで でいるので でいるので でいるので でいるので でいるで でいるので でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいで でい	は 員へ連絡してくの場合に合格と 標できる。 歴史と概可を理と通信の重化がある。 通信をデアイバーのでは、、と、と、では、できる。 一とでは、できる。 一とでは、できる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 できる。 できる。 一と構成ができる。 にと、構成ができる。 にと、は、できる。 できる。 のについてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいての	がださい。 (ださい。 する、評価項目及び評価できる。 (について説明できる。) (について説明できる。) (について説明できる。) (について説明できる。) (について説明できる。) (について説明できる。) (について説明できる。) (いて説明できる。) (シミリを説明できる。) (シミリを説明できる。) (シミリを説明できる。) (いて説明できる。) (いて説明できる。) (いて説明できる。) (いて説明できる。) (いて説明できる。)
注意点授業計画	3rdQ 4thQ	1 試験や 対 対 対 対 対 対 対 対 対	課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場にあまる 線応用 I 線応用 I 線応用 I 像通信 レビジョン ルチメディア ータの圧縮技術 出力機器	業が行われるが 業(6割)以 ック)による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を 目点が をで60点数で をで60点数で をできるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので できるので でいるのでので でいるで でいるので でいるので でいるので でいるので でいるで でいるので でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいるで でいで でい	は 員へ連絡してくの場合に合格と 標できる。 歴史と概可を理と通信の重化がある。 通信をデアイバーのでは、、と、と、では、できる。 一とでは、できる。 一とでは、できる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 一と構成ができる。 できる。 できる。 一と構成ができる。 にと、構成ができる。 にと、は、できる。 できる。 のについてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいてののいての	解できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. でかて説明できる. でかて説明できる. ができる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる. について説明できる.
注意点授業計画	3rdQ 4thQ	1	課題レポート等は、JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標、授業概 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I り と ジョン ルチメディア 一タの圧縮技術 出力機器	業が行われるが 準 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教60点数を を本で60点数を 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 一型では、 でのでいるでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 標できる。概できると概でを上げる。 一を上げるでは、とでは、は、とでは、できる。 ででは、できるでは、できないは	ができる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 について説明できる。 でかいて説明できる。 でかいて説明できる。 でかいて説明できる。 ではいて説明できる。 にないていた。 にないていた。 にないていた。 にないとないないないないないないないないないないないないないないないないないない
注意点	3rdQ 4thQ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	課題レポート等は、JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標、授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I 像通信 レビジョン ルチメディア 一夕の圧縮技術 出力機器	業が行われるが 業 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教育の本では、 を本でもの点が、 を本でもの点が、 をできるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 でののでは、 でいるが、	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 歴史と世の多重化とが、とこれでは、できるのでは、とこれでは、できるでは、とこれでは、できるでは、ででは、でいるでは、できないは、できない	解できる. はについて説明できる. はについて説明できる. はについて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. にいて説明できる.
注意点 接業計画 で対 が対	3rdQ 4thQ コアカリキ 合 試験	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	課題レポート等は, JAE 課題レポート等は, JAE 観される教員は当該授護標3 (C1-3) が標準基準 では評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標, 授業概5 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 号の伝送 I 場に アイバ通信 おり で はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	業が行われるが 準 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で、かつ科目全位	に教60点数を 一般で60点数である。 一般で60点数では 一般で60点数では 一般で60点数では 一般で60点数で 一般で6点数で 一般で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数で7点数	は は は は は は は は は に は に は に は に は に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	解できる. にてついて説明できる. について説明できる. でついて説明できる. でついて説明できる. でついて説明できる. でついて説明できる. でのいて説明できる. でのできる. でのできる. でのできる. について説明できる. できる. について説明できる.
注意点授業計画デカスの表のでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	3rdQ 4thQ コアカリキ 高 試験 割合 100 カ 0	1	課題レポート等は、JAE 観される教員は当該授う 標3 (C1-3) が標準基 いては評価 (ルーブリッ 業内容 習・教育目標、授業概題 信システムの概要 号の伝送 I 号の伝送 I 話 一夕通信 ファイバ通信 線応用 I 線応用 I 線応用 I 像通信 レビジョン ルチメディア 一夕の圧縮技術 出力機器	業が行われるが 準 (6割) 以 ック) による。 要の説明	少なくとも1週間前 上で,かつ科目全位	に教育の本では、 を本でもの点が、 を本でもの点が、 をできるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 でののでは、 でいるが、	関へ連絡してくの場合に合格と標できる。 歴史と世の多重化とが、とこれでは、できるのでは、とこれでは、できるでは、とこれでは、できるでは、ででは、でいるでは、できないは、できない	解できる. はについて説明できる. はについて説明できる. はについて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. ではいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. でいて説明できる. できる. にいて説明できる.